

武士たちのお正月

お正月は、何歳になっても一年中で最も楽しい季節でしょう。初詣に行ったり、書初めをしたり、お年玉をもらったりなど、正月ならではの行事や風習が数多く行われます。今回は、上三川・多功城の人々が活躍した鎌倉時代・室町時代の武士たちが、どのようなお正月を過ごしていたかを紹介します。

皆さんの中では、お正月に親戚や友だちを呼んで、『焼飯（大盤）振る舞い』をしようと計画している人もいるでしょう。現在では『大盤』と、当て字で書くことが多いのですが、これは平安時代に始まった焼飯（おうばん）という、朝廷に仕える大臣や役人が、皇居に参上した時にだされた食べ物を指していましたが、鎌倉時代や室町時代には、武士たちの間で行われる重要な正月行事を指す言葉となりました。それはどのような行事だったのでしょうか。

有力な家臣や老臣が、正月の元日・二日・三日・七日・十五日などに、自分の主君を自宅に招き、開かれる宴会を指すのです。晴れやかな



本町の武士たちもこのような屋敷でお正月を過ごしていたのでしょう

正月に主君を自宅に招くことは、家臣として最高の名誉となります。中でも三箇日に主君を呼ぶことは、重要な位置につくものしかできないことでした。残念ながら鎌倉時代や室町時代の文書で、生活や行事を詳細に記載したものが少ないため、どのような料理が宴会を賑わしたかはわかりませんが、質素儉約を身上とした武士たちは、例え宴会といえども豪華なものを出さなかったことでしょう。

鎌倉時代のことを記した、歴史書である「吾妻鏡」には、焼飯の際に参集した家臣たちが、料理のほかにも将軍に大きな鯉や剣、砂金、馬などを献上したり、弓を射る「弓始め」などの武芸を披露したりしたとの記述があり、お酒が酌み交わされるような席であったも、新年を迎え更に武芸を磨こうという、武士の心意気がありました。上三川城や多功城で、このような正月行事が行われたことを証明する文献資料は残されてはいませんが、地方の武士たちも同様のことを行っていたことが、他地域の文献で確認されています。

上三川城や多功城でも、城主を迎えた家臣の屋敷で、和やかに「焼飯」が行われ、晴れやかな正月を迎えていたことでしょう。

広報俳句

- | | |
|----------------------------------|-------|
| 大見得のチラシ商戦歳の陣
御降の水玉となり松の葉に | 浜野正男 |
| 黄の湖に裸木となりし大銀杏
あせつても焦らなくても年明くる | 柳田石村 |
| 来る年の幸せ願ひハ縄作る | 伊沢静香 |
| 初詣家紋継ぐ子の健やかに | 浜野マス子 |
| 佳き国をひとしく照らす初御空 | 阿部信子 |
| 酔ふ程に頑固親父の福笑 | 野沢花枝 |
| 幼な児の猫にあそばれ冬日和 | 上野キミエ |
| おでん鍋座談の名手囲みをり | 石崎節子 |
| | 蓬田四方 |

お年玉クイズ

恒例のお年玉クイズです。正解者の中から抽選で10名に記念品を差し上げます。

問題

- ①12月1日現在のの上三川町の人口は？
- ②しらさぎマラソン大会が行われたのはいつ？
- ③1月25日中央公民館で講演するのは誰？

応募先

ハガキで、〒329-0696上三川町しらさぎ一丁目1番地 企画課広報統計係まで。

また、広報に関するご意見などもあわせてお聞かせください。たくさんのご応募お待ちしております。

当選者は3月号で発表します。